

お わ り に

NPO 法人うしく里山の会では牛久市協働事業として、平成 18 年 4 月から 20 年 3 月までの 3 年間、「巨木リサーチ事業フェーズ 1」を実施し、市内の木 164 本（7 本は調査後伐採）を調査しました。平成 21 年度からはフェーズ 1 の成果を市民へ報告・紹介すると共に、調査木の健全な生育を図るための活動として、フェーズ 2 を実施してきました。本書はフェーズ 1 の成果の主な内容を市民の皆様を紹介することを目的として編集したものです。

牛久市では平成 3 年に条例を制定し、巨木を中心とした市内の樹木を「市民の木」として指定し、保全に努めています。本調査では初年目に「市民の木」、2 年目は社寺境内の木、3 年目は個人の屋敷の木を対象に巨木・古木・希少木を調べました。巨木については 4 頁に解説しましたが、希少木とは牛久市内では珍しい木を指します。

フェーズ 1 では、幹周・樹高・樹冠幅の樹木調査の他、植生・街路樹調査などを行いましたが、本書は前者の結果をまとめたものです。「市民の木」34 本、新たに巨木 16 本、古木 7 本、希少木 8 本を加え、65 本・29 樹種を掲載しました。同一樹種が一箇所に 2 本ある場合は、同じ頁に 2 本掲載しました。その他については、「牛久市協働事業巨木リサーチ事業報告書」を参照いただければ幸いです。

掲載木は選定木ごとに見開き 2 頁とし、左頁に拡大写真を配置し、右頁に①掲載木名とその所在地、測定値を枠内に示し、②測定結果および当該木をめぐる市内外の情報を解説、③多くの掲載木の生育場所である社寺の由緒や境内の石造物を一部紹介しました。さらに、④掲載木の補足写真・スケッチと所在地マップを掲載しました。

多くの巨樹は社寺の境内や旧家の屋敷に生育しており、ご神木としてしめ縄が張られていたり、根元に氏神が祀られています。これ

は精霊が宿る木として崇拝されていることであり、人々の精神生活の支えとなってきたことを示しています。社寺の境内には巨樹と一体になって、各種の石造物が造立されています。

本書は樹木愛好者の地道なボランティア活動に支えられて生まれたものです。牛久市に住み、樹木や自然、郷土の歴史に関心のある方々が本書を携えて現場をたずね、巨樹や歴史におもいをめぐらせていただくと共に、現在の巨樹が牛久市民共通の自然的文化的遺産として、次世代に引き継がれることに役立てば何よりの喜びです。

本書の編集にあたり、多大なご支援をいただいた牛久市・NPO 法人うしく里山の会・牛久自然観察の森に対し、心から感謝申し上げます。また、調査および調査結果の掲載を快くご承諾いただいた所有者および管理者に対し、お礼申し上げます。

編集委員会 責任者 渡辺 泰

主な参考図書・資料

1. 茨城県植物誌. 鈴木昌友他. 茨城県植物誌刊行会. 1981.
2. 市民の木ガイドマップ. 牛久市建設部緑化推進課.
3. 牛久市史料 石造物編. 牛久市史編さん委員会. 牛久市. 1999.
4. 牛久市文化財ガイドブック. 牛久市教育委員会生涯学習課・牛久市観光協会.
5. 牛久市協働事業巨木リサーチ事業報告書. 牛久市・NPO法人うしく里山の会. 2011.
6. 原色日本植物図鑑 木本編 I・II. 北村二郎・村田源. 保育社. 1971/1979.
7. 週刊朝日百科 植物の世界 1~14. 朝日新聞社. 1994~1996.
8. ゼンリン住宅地図 茨城県牛久市. 株式会社ゼンリン. 2006.
9. 日本の野生植物 木本 I・II. 佐竹義輔他編. 平凡社. 1997.